

IFIAR 本会合開催実績

	期 間	場 所	参 加 当 局
第 1 回	平成 19 年 3 月 22・23 日	東京	22 か国・地域
第 2 回	平成 19 年 9 月 24・25 日	トロント	21 か国・地域
第 3 回	平成 20 年 4 月 9～11 日	オスロ	22 か国・地域
第 4 回	平成 20 年 9 月 22～24 日	ケープタウン	21 か国・地域
第 5 回	平成 21 年 4 月 27～29 日	バーゼル	30 か国・地域
第 6 回	平成 21 年 9 月 14～16 日	シンガポール	29 か国・地域
第 7 回	平成 22 年 3 月 22～24 日	アブダビ	30 か国・地域
第 8 回	平成 22 年 9 月 27～29 日	マドリッド	37 か国・地域
第 9 回	平成 23 年 4 月 11～13 日	ベルリン	34 か国・地域
第 10 回	平成 23 年 9 月 26～28 日	バンコク	29 か国・地域
第 11 回	平成 24 年 4 月 16～18 日	釜山	32 か国・地域
第 12 回	平成 24 年 10 月 1～3 日	ロンドン	39 か国・地域
第 13 回	平成 25 年 4 月 15～17 日	ノールドワイク	42 か国・地域
第 14 回	平成 26 年 4 月 7～9 日	ワシントン D. C.	44 か国・地域
第 15 回	平成 27 年 4 月 21～23 日	台北	38 か国・地域
第 16 回	平成 28 年 4 月 19～21 日	ロンドン	48 か国・地域
第 17 回	平成 29 年 4 月 4～6 日	東京	47 か国・地域
第 18 回	平成 30 年 4 月 17～19 日	オタワ	47 か国・地域
第 19 回	平成 31 年 4 月 30 日 ～令和元年 5 月 2 日	ギリシャ	50 か国・地域

(注)平成 25 年以降、本会合は年 1 回の開催とし、別途オフィサー、諮問委員会メンバー及びワーキング・グループ議長等による中間会合を開催。




令和3年3月22日
公認会計士・監査審査会/金融庁

監査監督機関国際フォーラムによる 「2020年検査指摘事項報告書」の公表について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、メンバー国の監査監督当局を対象に、2020年（令和2年）夏、9回目となる検査指摘事項調査を実施しました。この度、その結果を取りまとめた「2020年検査指摘事項報告書」（原題：Survey of Inspection Findings 2020）を公表しました。

なお、公認会計士・監査審査会事務局は、本報告書の取りまとめを行う作業チームに参画しており、引き続き当該取組みに貢献してまいります。

詳細につきましては、以下をご覧ください。

- ▶ [プレスリリース（原文）](#)（PDF） ・ [（仮訳）](#)（PDF）
- ▶ [「2020年検査指摘事項報告書」（原文）](#)（PDF）

お問い合わせ先

公認会計士・監査審査会事務局 総務試験室
金融庁総合政策局IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室
Tel：03-3506-6000（代表）（内線2415）

プレスリリース（仮訳）

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が第9回 検査指摘事項調査の報告書を公表

2021年3月15日

本日、IFIAR は、6大グローバル監査法人ネットワークに加盟している監査法人に対して、IFIAR メンバー当局が個別に行った検査に基づく9回目の年次検査指摘事項調査の結果に係る報告書を公表した。IFIAR は、法人全体の品質管理態勢に対する検査、及び、個別監査業務に対する検査の2種類の活動に係る情報を収集した。50のIFIAR メンバー当局が2020年の調査に参加した。

2020年調査へのIFIAR メンバー当局の報告によると、検査を行った個別監査業務のうち、1つ以上の指摘があったものは34%だった。それに対し、2019年調査では33%、指摘率を初めて計測した2014年調査では47%であった。今回の前年同期比でのわずかな増加は、過去7回の調査において一度だけである。

2020年調査に含まれる検査結果は、COVID-19のパンデミック発生前に終了した監査の検査であり、パンデミックによる検査活動への影響は、2021年以降の調査に反映される可能性がある。

IFIAR は、メンバー当局の検査プログラムの集計結果の前年比の変化が、必ずしも監査品質の変化を示すものではないため、調査結果の一般的な傾向を長期的にモニターしている。しかしながら、集計上の指摘率は依然として高く、監査法人には高水準にとどまる指摘率に対処するための継続的な努力が求められる。さらに、品質管理態勢に関する検査結果の経年変化も引き続き懸念される。強力な品質管理態勢は、監査品質を向上、維持するための重要な要素であることから、IFIAR は、質の高い監査を実現するために、GPPC¹ネットワークとそのメンバーファームが継続して改善に取り組むことを強く求める。

本調査結果は、監査法人による監査品質改善の進捗を厳密に測定するものではなく、変化を検討する唯一の要因でもない。IFIAR メンバー当局の検査はリスクベースの手法を取っているため、年間を通じて、必ずしも全ての監査事務所や品質管理項目、全保証業務の代表的なサンプルを選んでいるわけではない。監査品質を総合的に評価するには、検査を通じて特定・報告された不備の数を超えた、様々な要素を検討する必要がある。

¹（公認会計士・監査審査会事務局注）GPPC：BDO、Deloitte Touche Tohmatsu、Ernst & Young、Grant Thornton、KPMG 及び PricewaterhouseCoopers。

監査品質を向上させる責任は監査法人にあるが、IFIAR は、様々な活動を通じて、グローバルに一貫した高品質な監査に向けた進歩に影響を与えようとしている。IFIAR は、監査法人が継続的に改善のサイクルを回し続けることを促している。それは今までも、これからも、GPPC との対話や IFIAR メンバー間での知見の共有における、IFIAR の突出した特徴であり続ける。

検査指摘事項調査について

IFIAR の年次検査指摘事項調査は、監査法人の品質管理態勢及びシステム上重要な金融機関（SIFIs）を含む上場 PIEs（社会的影響度の高い事業体）の監査について、IFIAR メンバー当局の主な検査結果をまとめたものである。PIE 監査における検査指摘事項は、監査事務所が監査意見を裏付けるのに十分かつ適切な監査証拠を入手していなかったことを示す、監査手続上の不備である。しかし、必ずしも当該財務諸表に重要な虚偽表示があることを示唆するものではない。

IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、2006 年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの 54 の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。その使命は、グローバルに監査品質を向上することにより、投資家を含む公益に資することである。IFIAR は、世界中の監査品質や規制実施について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIAR の公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、公益監視委員会（PIOB）及び世界銀行である。IFIAR に関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト（www.ifiar.org）を参照されたい。

IFIAR Urges Continued Audit Quality Improvement Efforts

March 15, 2021

IFIAR released today a report on the results of its ninth annual survey of inspection findings arising from its member regulators' individual inspections of audit firms affiliated with the six largest global audit firm networks. IFIAR collected information about two categories of activities: inspections performed on firm-wide systems of quality control and inspections of individual audit engagements. Fifty IFIAR members contributed to the 2020 survey.

IFIAR members reported in the 2020 survey that 34% of audit engagements inspected had at least one finding, compared to 33% in the 2019 survey, and down from 47% in the first survey capturing this percentage in 2014. This slight year-over-year increase is the only time the finding rate has increased over the past seven surveys.

The inspection results included in the 2020 survey are for inspections of audits that concluded prior to the advent of the pandemic. The pandemic's effects on inspection activity may be reflected in the 2021 and subsequent surveys.

IFIAR monitors general trends in survey findings over time, as year-over-year changes in aggregate results across our members' inspections programs are not necessarily indicative of changes in audit quality. However, the rate of findings at the aggregate level remains high, and the need remains for audit firms to make continued efforts to address the high level of findings. Further, variability over time in findings from inspections of systems of quality control continues to be of concern. A strong system of quality control is a critical element in improved and sustained audit quality. IFIAR, therefore, urges the GPPC networks' and their member firms' continued improvement efforts in the interest of achieving consistently high quality audit performance.

The survey results do not measure precisely – and are not the sole factor when considering developments in – firms' progress in improving audit quality. Members' inspection processes follow a risk-based methodology and are not necessarily intended to select a representative sample of all firms, firms' quality control elements or all assurance work throughout the year. A comprehensive evaluation of audit quality involves consideration of various factors beyond numerical information about deficiencies identified and reported over the course of an inspection.

While responsibility for improving audit quality rests with audit firms, IFIAR seeks to influence progress towards consistent, high quality audits globally through various activities. IFIAR encourages audit firms to execute on an ongoing cycle of continuous improvement, a topic that has been – and will remain – a prominent aspect of IFIAR's dialogue with the GPPC networks and knowledge sharing among IFIAR members.

About the Survey

IFIAR's annual Inspection Findings Survey collects data on key results from IFIAR Members' inspections of audit firms' systems of quality control and audits of listed public interest entities (PIEs), including systemically important financial institutions (SIFIs). Inspection findings for PIE audits are deficiencies in audit procedures that indicate that the audit firm did not obtain sufficient appropriate audit evidence to support its opinion, but do not necessarily imply that those financial statements are also materially misstated.

About IFIAR




Established in 2006, the International Forum of Independent Audit Regulators (IFIAR) comprises independent audit regulators from 54 jurisdictions representing Africa, North America, South America, Asia, Oceania, and Europe. Our mission is to serve the public interest, including investors, by enhancing audit oversight globally. IFIAR provides a platform for dialogue and information-sharing regarding audit quality matters and regulatory practices around the world; and promotes collaboration in regulatory activity. IFIAR's official observer organizations are the Basel Committee on Banking Supervision, the European Commission, the Financial Stability Board, the International Association of Insurance Supervisors, the International Organization of Securities Commissions, the Public Interest Oversight Board and the World Bank. For more information about IFIAR, visit www.ifiar.org.

令和2年10月9日
公認会計士・監査審査会/金融庁

監査監督機関国際フォーラムによる 「Information Paper: グローバルネットワークに対する監督の推進」の公表について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、9月11日、「Information Paper: グローバルネットワークに対する監督の推進」（原題：IFIAR Information Paper: Facilitating Oversight of Global Audit Firm Networks）を公表しました。

詳細につきましては、以下をご覧ください。

- ▶  [プレスリリース（原文）](#) ・  [（仮訳）](#)
- ▶  [Information Paper（原文）](#)

関連サイト：IFIARウェブサイト Information Paperの公表について
(<https://www.ifiar.org/latest-news/ifiar-publishes-information-paper-on-facilitating-oversight-of-global-audit-firm-networks/>)

お問い合わせ先

公認会計士・監査審査会事務局 総務試験室
金融庁総合政策局IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室
Tel：03-3506-6000（代表）（内線2432）

プレスリリース（仮訳）

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が「Information Paper：グローバルネットワークに対する監督の促進」を公表

2020年9月10日

世界的な COVID-19 の渦中で、COVID-19 はビジネスに重大な支障をきたしかねないため、関係者はこれまで以上に財務報告の信頼性の確保に注意を払っている。この流れを受けて、本日 IFIAR は、高品質な監査及び監査監督と他の要素を併せた、財務報告エコシステムに対する重要性を強調し、資本市場の信頼の形成における財務報告エコシステムの役割の概要を記載した Information Paper を公表した。

IFIAR は、加盟国に対し、情報交換や経験共有を行うためのプラットフォームを提供している。同様に、IFIAR はグローバルネットワークとの対話の場を設け、世界的な監査品質の向上を試みている。この Information Paper では、グローバルネットワーク特有の構造的な特徴を説明し、また、IFIAR が規制当局ではない中で、グローバルネットワークとメンバーファームへの関与により、いかにそれらに対する監督を促進しているかを概説している。

IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、2006 年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの 55 の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。その使命は、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することである。IFIAR は、世界中の監査品質や規制実施について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIAR の公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、公益監視委員会（PIOB）及び世界銀行である。IFIAR に関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト（www.ifiar.org）を参照されたい。



September 10, 2020
Tokyo, Japan

International Forum of Independent Audit Regulators publishes Information Paper on “Facilitating Oversight of Global Audit Firm Networks”.

In the midst of the global covid-19 pandemic, which continues to cause significant disruption to business, stakeholders are paying ever closer attention to the reliability of financial reporting. It is in this context that IFIAR has published today an Information Paper which underscores the importance of both high-quality audits and audit oversight, together with other contributors, to the financial reporting ecosystem, and outlines the role of the financial reporting ecosystem in building trust in the capital markets.

IFIAR provides a platform for its Membership to exchange information and share experiences. IFIAR also coordinates dialogue with the largest global audit firm networks, prompting the networks to improve audit quality around the world. This Information Paper explains the unique structural characteristics of global audit firm networks and outlines how, whilst not a regulator itself, IFIAR’s engagement with the networks and among members facilitates the oversight of global audit networks.

About IFIAR



Established in 2006, the International Forum of Independent Audit Regulators (IFIAR) comprises independent audit regulators from 55 jurisdictions representing Africa, North America, South America, Asia, Oceania, and Europe. Our mission is to serve the public interest, including investors, by enhancing audit oversight globally. IFIAR provides a platform for dialogue and information-sharing regarding audit quality matters and regulatory practices around the world; and promotes collaboration in regulatory activity. IFIAR’s official observer organizations are the Basel Committee on Banking Supervision, the European Commission, the Financial Stability Board, the International Association of Insurance Supervisors, the International Organization of Securities Commissions, the Public Interest Oversight Board and the World Bank. For more information about IFIAR, visit www.ifiar.org.

令和2年5月11日
公認会計士・監査審査会/金融庁

監査監督機関国際フォーラムによる 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関係の 議長レターの公表について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、5月1日、「IFIAR議長によるCOVID-19に関する利害関係者へのアップデート」（原題：IFIAR Chair's Update on COVID-19 to stakeholders）を公表しました。

詳細につきましては、以下をご覧ください。

▶ [議長レター（原文）](#)（監査監督機関国際フォーラムウェブサイトリンク）・[（仮訳）](#)（PDF）

関連サイト：監査監督機関国際フォーラムウェブサイト 新型コロナウイルス感染症関連ページ
(<https://www.ifiar.org/latest-news/ifiar-update-on-covid-19/>)

お問い合わせ先

公認会計士・監査審査会事務局 総務試験室
金融庁総合政策局IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室
Tel：03-3506-6000（代表）（内線2432）

議長レター（仮訳）

IFIAR 議長による COVID-19 に関する利害関係者へのアップデート

2020 年 5 月 1 日

本レターは、COVID-19 パンデミックの危機を踏まえた IFIAR 及び IFIAR メンバー当局の活動について最新情報を提供するものである。

第一に、（組織としての）IFIAR は、今後予定されているすべての対面会議を中止し、IFIAR 職員を在宅勤務に移行させることで、メンバー、職員、一般市民の健康と安全に注力して対応してきた。このような状況にもかかわらず、（組織としての）IFIAR は、メンバーと同様に、状況に適応して業務運営を継続し、現在進行中の業務及び目の前の新たな課題に関して、メンバー及び監査コミュニティの利害関係者を支援することに積極的に注力してきた。

私は、IFIAR 代表理事会とともに、監査及び監査監督コミュニティにおける多くの監査人やその他の参加者が、COVID-19 パンデミックの結果、監査及び監査監督を実施する上で実務上の困難に直面しているであろうことを認識している。しかし、我々は監査監督当局として、この間、質の高い財務報告の維持に監査が貢献することの重要性についても認識している。投資家及びその他の利害関係者がかつてない程質の高い財務情報を必要としているであろう今、COVID-19 の重大な影響があっても、また、それを踏まえて、監査法人は、要求される基準を十分に遵守する必要があることを強調する。これらの新たな課題にもかかわらず、IFIAR は、COVID-19 の状況を踏まえた新たな活動を含め、「世界的に監査監督を強化することで、投資家を含む公共の利益に貢献する」という使命を引き続き果たしていく。そのような活動には以下が含まれる。

IFIAR メンバーと一般への情報共有

多くの IFIAR メンバー及び関連当局は、この危機の間、監査コミュニティに対して重要な発表、声明及びガイドラインを公表してきた。COVID-19 パンデミックによる監査、会計及び開示への影響や想定される財務諸表監査への影響について、監査人、企業及びその他の者の注意を喚起するため、多くの情報が公表されてきた。同様に、提出期限の延長、立入検査の一時的な猶予、当局の期待に関する監査法人や利害関係者へのタイムリーな最新情報の提供など、多くの当局が講じてきた関連施策も公表されてきた。

IFIAR は、メンバーや一般市民に対し、メンバーの国・地域におけるそのような動向や現在進行中の COVID-19 の状況に関連するその他の有用な情報について最新情報を継続的に提供していくため、IFIAR のウェブサイト内に COVID-19 専用ページを公開している。[\(https://www.ifiar.org/about/covid-19-updates-public/\)](https://www.ifiar.org/about/covid-19-updates-public/)

また、別途メンバー専用ページには、当局にとって価値のある更なる情報が掲載されている。

さらに、IFIAR 代表理事会は 4 月 16 日、代表理事会メンバーが、より多くの IFIAR メンバーと共有すべきテーマを知り、特定するため、専ら COVID-19 パンデミックに関する代表理事会メンバー当局の対応について議論するための電話会議を開催した。代表理事会は、継続して開催される会議において、状況の変化を注意深く監視し続ける。

グローバル監査品質ワーキング・グループ(GAQWG)とグローバル公共政策委員会(GPPC)ネットワークとの連携^[1]

GAQWG は、COVID-19 に関連して発生し得る新たな問題に直ちに注力するのに加え、ワーキング・グループとして進行中の重点分野について、対話とモメンタムを維持するため、GPPC のカウンターパートとの交流を継続している。

オフィサー（議長、副議長）/事務局長(ED) と GPPC 幹部との連携

オフィサー及び ED は、現在の状況において監査を遂行する上で直面している課題や、それに対応するための取組を理解するため、GPPC 事務局及び GPPC の CEO グループの議長と定期的に電話・ビデオ会議を開催しているほか、個々の GPPC 監査法人の幹部とも随時電話会議を行っている。こうした交流の中で、GPPC は IFIAR がメンバーを支援するために行っている取組に関して情報を得ている。オフィサーと ED は、監査法人がすべての関連する基準を遵守し、質の高い監査を実施することが期待されていることを繰り返し伝えている。

基準設定主体や他の国際機関との調整

IFIAR は、引き続き、基準調整ワーキング・グループ（SCWG）を通じて、IAASB の作業をフォローし、コメントを行う。さらに、SCWG 議長は、IAASB 及び各国基準設定主体（監査基準設定の権限を有する IFIAR メンバーも含む）と連携し、実施し得る対応策の把握に努めている。

IFIAR のオフィサーと ED は、オープンなコミュニケーションと情報共有を維持するために、適宜他の国際機関とも連携している。

メンバーの活動

検査：メンバーは、各国政府が実施中の推奨される措置の下で活動を継続できるよう、監査人及び監査法人の検査について実務的な面で修正を行っている。多くの国・地域では、進行中の検査についてリモートワークが可能とされており、その他の国・地域でも、リモートでの活動を向上させるために引き続き働き方を見直している。場合によっては、監査業務チームが足元の

監査の遂行に集中できるように、検査のタイミングを調整したり、一時的に中断したりしている。

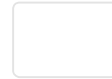
執行：一部のメンバーは、執行業務、特に、必要となる対面でのインタビューやその他の会議の実施、（制度上該当する国・地域における）証言の聴取など典型的な対面での活動を継続するにあたり障害に直面しており、リモートでのインタビューや資料入手の手段について模索している。

各国内の監査法人とのコミュニケーション：メンバーの中には、現在の状況下で監査法人が直面している重要な問題及びそれに対応するために監査法人が実施している取組や手続きを特定し、理解するために、各国内の監査法人の代表と定期的に連絡を取り合っている当局もある。

IFIAR は、現在の状況により、全ての利害関係者が制約を受け、更なる圧力の下にあることを認識している。その結果、世界的に監査監督を強化するための IFIAR の努力及び手段は、状況に適応し、進化し続ける。IFIAR はこれらの活動についてウェブサイトを通じて利害関係者に継続的に情報提供していく。

フランク・シュナイダー
IFIAR 議長

[1] 各 GPPC ネットワークは、世界中の国や地域で属地的に運営され、別々の法人格を持つ監査法人（メンバーファーム）のグループで構成されている。各 GPPC ネットワークは、以下の法人に代表される：BDO International Limited、Deloitte Touche Tohmatsu Limited、Ernst & Young Global Limited、Grant Thornton International Limited、KPMG International Cooperative、及び PricewaterhouseCoopers International Limited。



[Home](#) / [Latest News](#) / [IFIAR Chair's Update on COVID-19 to...](#) /

IFIAR Chair's Update on COVID-19 to stakeholders

May 1, 2020

IFIAR Chair's Update on COVID-19 to stakeholders

This letter is to provide an update on IFIAR activity, and that of IFIAR Member organizations, considering the COVID-19 pandemic crisis.

Firstly, IFIAR as an organization has responded with a focus on the health and safety of our Members, staff and the general public by canceling all upcoming in-person meetings and moving to a work-from-home basis for the IFIAR staff. Despite this, IFIAR as an organization has, like our Members, adapted and remains operational and actively focused on supporting our Membership and stakeholders in the audit community in our ongoing work as well as the new challenges at hand.

I, along with the IFIAR Board, recognize that many auditors and other participants in the audit and audit oversight community may be facing practical difficulties in carrying out audits and audit oversight as a result of the COVID-19 pandemic. But as audit regulators we also recognize the importance of audit's contribution to maintaining high quality financial reporting during this time and stress the need for audit firms to fully comply with required standards despite, and in light of, the

significant impacts of COVID-19 – when investors and other stakeholders may have greater need for high-quality financial information than ever. Despite these new challenges, IFIAR will continue to fulfill its mission which is to serve the public interest, including investors, by enhancing audit oversight globally – including new activity developed in light of the COVID-19 situation. Such activity includes:

Information sharing for IFIAR members and the public

Many IFIAR Members and related regulators have issued announcements, statements and guidelines of import to the audit community during this crisis. Many public communications have been issued to draw the attention of auditors, companies and others to the audit, accounting and disclosure implications of the COVID-19 pandemic and its likely impact to audits of financial statements; as well as the related steps many regulators have taken, such as the extension of filing deadlines, temporary relief from on-site inspections, and the provision of timely updates to firms and stakeholders as to regulator expectations.

IFIAR has published dedicated COVID-19 pages on the IFIAR website to keep Members and the general public updated on such developments from across our Member jurisdictions and other relevant information in relation to the ongoing COVID-19 situation.
(<https://www.ifiar.org/about/covid-19-updates-public/>)

A separate dedicated page for Members hosts further information of value to regulators.

Further, IFIAR's Board held a conference call on April 16 dedicated to discussing the responses of Board Member organisations to the COVID-19 pandemic, to enable Board Members to learn and identify themes to share with the greater IFIAR Membership. The Board continues to closely monitor the evolution of the situation during its ongoing meetings.

Global Audit Quality Working Group (GAQWG) Liaison with the Global Public Policy Committee (GPPC) Networks^[1]

Officer/ Executive Director (ED) Liaison with the GPPC Leadership

The Officers and ED are holding periodic tele/video-conference calls with the GPPC Secretariat and Chair of the GPPC CEO Group; in addition to ad hoc calls with individual GPPC firm leadership to understand the challenges they are facing in completing audits in the current circumstances and the initiatives they are undertaking in response. During these interactions, the GPPC has been kept informed of the actions IFIAR has been taking to support its Members. The Officers and ED have reiterated the expectation for firms to comply with all relevant standards and perform high-quality audits.

Coordination with Standard Setters and other International Organizations

IFIAR continues to follow and comment on the work of the IAASB through IFIAR's Standards Coordination Working Group (SCWG). In addition, the SCWG Chair is liaising with the IAASB and National Standard Setters (some of which are IFIAR Members with audit standard setting within their remit) to understand any responsive steps they may be taking.

IFIAR's Officers and ED are also liaising with other international organizations to maintain open communication and information sharing, as appropriate.

Member Activity

Inspections: Members are adapting the practical aspects of their inspections of statutory auditors and audit firms to allow for continued activity under the recommended measures implemented by their respective governments. Remote working arrangements are in place for ongoing inspections in many jurisdictions and others continue to adapt their working arrangements to improve remote activity. In some cases, the timing of inspection activity is being adjusted or temporarily suspended to allow audit teams to focus on completing current audits.

Communication with national audit firms: A number of our Members have established regular contact with audit firm representatives at a national level in their jurisdiction to identify and understand key issues encountered by the firms in the current context, and the initiatives and processes implemented by the firms in response.

IFIAR recognizes the constraints experienced by, and additional pressures placed upon, all our stakeholders by the current circumstances. IFIAR's efforts and methods to enhance audit oversight globally continues to adapt and evolve as a result and we will continue to update stakeholders through our website on these activities.

Yours Truly,

Frank Schneider,^[1]
IFIAR Chair

[\[1\]](#) Each of the Global Public Policy Committee (GPPC) networks is comprised of a group of legally separate firms operating locally in countries or regions around the world. The GPPC networks are represented by the following entities: BDO International Limited, Deloitte Touche Tohmatsu Limited, Ernst & Young Global Limited, Grant Thornton International Limited, KPMG International Cooperative, and PricewaterhouseCoopers International Limited.

Posted on April 30, 2020

IFIAR 検査ワークショップ開催実績

	期 間	場 所	参 加 当 局
第 1 回	平成 19 年 5 月 30・31 日	アムステルダム	22 か国・地域
第 2 回	平成 20 年 1 月 29・30 日	ベルリン	20 か国・地域
第 3 回	平成 21 年 2 月 11～13 日	ストックホルム	25 か国・地域
第 4 回	平成 22 年 2 月 9～12 日	パリ	31 か国・地域
第 5 回	平成 23 年 2 月 23～25 日	ワシントン D.C.	30 か国・地域
第 6 回	平成 24 年 3 月 5～7 日	アブダビ	32 か国・地域
第 7 回	平成 25 年 3 月 4～6 日	チューリッヒ	38 か国・地域
第 8 回	平成 26 年 3 月 10～12 日	クアラルンプール	36 か国・地域
第 9 回	平成 27 年 3 月 2～4 日	ロンドン	37 か国・地域
第 10 回	平成 28 年 2 月 22～24 日	アブダビ	34 か国・地域
第 11 回	平成 29 年 2 月 8～10 日	アテネ	41 か国・地域
第 12 回	平成 30 年 2 月 20～22 日	コロンボ	41 か国・地域
第 13 回	平成 31 年 3 月 6～8 日	パリ	47 か国・地域
第 14 回	令和 2 年 2 月 4～6 日	ワシントン D.C.	40 か国・地域
第 15 回	令和 3 年 3 月 23～25 日	オンライン形式で 開催	51 か国・地域

日本 IFIAR ネットワーク 会員

【会計監査税務】

- 日本監査研究学会
- 日本監査役協会
- 日本公認会計士協会
- 日本税理士会連合会
- 日本内部監査協会

【経済界】

- 経済同友会
- 日本経済団体連合会

【金融資本市場】

- 金融先物取引業協会
- 国際銀行協会（I B A）
- 信託協会
- 生命保険協会
- 全国銀行協会
- 第二種金融商品取引業協会
- 投資信託協会
- 日本証券アナリスト協会
- 日本証券業協会
- 日本損害保険協会
- 日本投資顧問業協会
- 日本取引所グループ
- 日本 I R 協議会

【その他】

- 日本弁護士連合会

【オブザーバー】

- 東京都

計 22 団体

（注 1）各分類内で 50 音順

（注 2）○印は、ネットワークの行事を企画する企画委員会に所属する会員。計 9 会員。